



#### 評議員会

- ・平成 30 年 5 月 31 日(木) 平成 29 年度事業報告及び計算書類及び財産目録の承認、評議員の選任、理事の選任

#### 理事会

- ・平成 30 年 5 月 15 日(火) 平成 29 年度事業報告及び附属明細書、計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認、評議員会の招集
- ・平成 30 年 5 月 31 日(木) 理事長選定、副理事長選定、専務理事選定の決議（書面決議）
- ・平成 31 年 2 月 7 日(木) 2019 年度事業計画及び収支予算、管理及び運営に関する規程の一部改正、平成 30 年度補正予算、他

#### 委員会

##### ①事業評価・事業企画委員会

- ・平成 30 年 12 月 11 日(火) 平成 29 年度事業評価、平成 30 年度事業中間報告、平成 31 年度事業について（書面）

##### ②事業運営委員会

- ・平成 30 年 12 月 26 日(水) 平成 30 年度事業中間報告、平成 31 年度事業計画（案）

★公益事業 (124,564,937 円 サポイン事業除く 100,889,282 円)

**PRODUCT (売れるモノづくり)**

プロダクト事業 (29,183,285 円)

1 ジャパン・ヤーン・フェア (JY) & 総合展「THE 尾州」の開催 (28,011,091 円)

「糸」の展示会を開催することにより、川上企業と川中企業の出会いの場を創出し、素材からの差別化商品の新開発を支援する。また、総合展「THE 尾州」を併催し、尾州の魅力を発信した。

特別イベントとして、草刈民代さんスペシャルトークショー、サステイナブルセミナー、尾州ジャズオーケストラライブなどを開催。

◆会 期：平成 31 年 2 月 20 日 (水) ~ 22 日 (金)

◇会 場：一宮市総合体育館

◇出展者：65 社

◇来場者：5,666 名

2 福祉衣料に関わる開発支援 (426,959 円)

尾張繊維技術センター、一宮特別支援学校、地元企業と福祉向け商品開発の支援を行った。

開発商品：3 ピーススーツ

3 ファッション・テクノ工房 (745,235 円)

コンピュータによる柄シミュレーションソフトを活用した見本製作の支援をおこなった。

見本作製 503 枚 (延べ利用社数 144 社)

**PERSON (人材育成)**

パーソン事業 (15,709,467 円)

1 繊維産業人材育成セミナー「尾州インパナ塾」(2,057,410 円)

大学、尾張繊維技術センター、FDC 匠ネットワーク等との連携を図り、産地の将来を担う人材育成を図った。

◆期 間：平成 30 年 4 月 14 日 (土) ~ 平成 31 年 2 月 5 日 (火)

◇受講修了者：12 名 (正規受講者 7 名、部分受講者 5 名)

2 各種セミナー (1,108,050 円)

(1) ファッショントレンドセミナー (年 2 回)

モノづくりにおける企画開発に活用するため、トレンド発信企業であるネリーロディ社 (フランス) のファッショントレンド情報を提供した。

◆期 日：平成 30 年 6 月 12 日 (木)

◇テーマ：「2019/20 秋冬ファッショントレンドセミナー」

◇講 師：鎌倉 美江 氏 (ネリーロディ・ジャポン社)

◇会 場：FDC

◇参加者：69 名

◆期 日：平成 30 年 11 月 13 日 (火)

◇テーマ：「ファッショントレンドセミナー」

◇講 師：鎌倉 美江 氏 (ネリーロディ・ジャポン社)

- ◇会場：FDC
- ◇参加者：36名
- (2) マーケットセミナー（年4回）
  - 顧客基点で分析する、アパレルのマーケット情報を提供した。
  - ◆期 日：平成30年 4月 5日（木）・・・参加者34名  
 平成30年 7月19日（木）・・・参加者26名  
 平成30年11月 8日（木）・・・参加者24名  
 平成31年 2月 8日（金）・・・参加者32名
  - ◇講師：(株)プレール 代表取締役社長 栗山 志明 氏
  - ◇会場：FDC
- (3) 技術セミナー
  - ・ 繊維技術セミナー
    - ◆期 日：平成30年7月13日（金）
    - ◇テーマ：①「セメント補強用ビニロン繊維と応用例」
    - ◇講師：(株)クラレ 岡山事業所 産資開発部 研究員 堀越 敬史 氏
    - ◇テーマ：②「人間快適工学による繊維製品の「心地」の数値化と産学連携製品への展開」
    - ◇講師：信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典 氏
    - ◇会場：尾張繊維技術センター 4階研修室
    - ◇参加者：68名
  - ・ 研究成果普及講習会
    - ◆期 日：平成31年3月20日（水）
    - ◇基調講演：「ミツフジの歴史と自社を支える技術及び将来の展望について」
    - ◇講師：ミツフジ(株)代表取締役社長 三寺 歩 氏
    - ◇事業紹介：新あいち創造研究開発補助金の概要
    - ◇研究成果普及講習
      - テーマ：アクチュエーター繊維の製造技術に関する研究、無縫製ニット製品の異分野向の製品化に関する研究、消毒剤による座席シートの薬品試験と残留性評価
    - ◇講師：尾張繊維技術センター職員
    - ◇会場：尾張繊維技術センター 4階研修室
    - ◇参加者：78名
- (4) 新規採用者向けセミナー
  - ◆期 日：平成30年6月28日（木）
  - ◇テーマ：繊維原料・紡・撚糸、染色などの基礎知識及び施設見学
  - ◇講師：尾張繊維技術センター職員
  - ◇会場：FDC、尾張繊維技術センター
  - ◇受講者：34名
- (5) テキスタイルトレンドセミナー（共催）
  - ◆期 日：平成30年4月23日（月）
  - ◇テーマ：2019春夏カラー&素材傾向
  - ◇受講者：78名
  - ◆期 日：平成30年10月29日（月）
  - ◇テーマ：2019-20秋冬テキスタイル傾向総括
  - ◇講師：OFFICE KURUMA テキスタイルコーディネーター 車 純子 氏
  - ◇会場：岐阜毛織会館
  - ◇受講者：70名

(6) サステイナブルセミナー

◆期 日：平成 31 年 2 月 20 日（水）

◇テーマ：2019 年変わります、糸へん産業の持続可能性！

◇講 師：日本繊維産業連盟「環境・安全問題委員会」主査

元株式会社「ワコール 長保幸 氏

◇会 場：一宮市総合体育館 多目的室

◇受講者：45 名

3 学生のための人材育成 (4,919,612 円)

次世代を担う学生に繊維産業の魅力と興味をつなげ、地場産業の人材の確保を図った。

(1) 翔工房

学生のアイデア等を基に、「FDC 匠ネットワーク」の技術指導により、学生自身が糸から生地を製作し、その生地を用いてアパレル製品にすることにより、ものづくりを通じた人材育成を図った。

◆期 間：平成 30 年 6 月～31 年 2 月 22 日

◇受講生：25 名（19 校—大学院 1 校、大学 8 校、短期大学 1 校、専門学校 9 校）

◇講 師：匠ネットワーク

(2) インターンシップ

ファッション産業を担う学生を対象に、繊維産業の魅力を伝えることにより、地場産業への人材確保を図った。

◆期日及び人数：平成 30 年 8 月 1 日、6 日、10 日 大学 3 年生 6 名（椋山女学園）  
平成 31 年 2 月 18 日～22 日 大学 3 年生 7 名（名古屋学芸大学）

(3) 学生産地研修会

学生を対象に、紡績、製織、染色整理等の工場見学を行うなど、尾州産地やファッションビジネスについて研修会を開催した。

◆期 日：平成 30 年 8 月 8 日（水）・9 日（木）

◇内 容：繊維関連講座及び工場見学（紡績、製織、染色整理）

◇受講者：22 名（大学院・大学 8 校 12 人、専門学校 5 校 10 人）

(4) 素材講座

◆期 日：平成 30 年 8 月 10 日（金）ものづくりリレー参加者等 受講者 25 人

◇テーマ：織機操作のための基礎知識

4 尾州の匠ものづくりリレー事業 (7,624,395 円)

織布工場などを借上げ、工場主により、実践的な製織の技術指導を行い、自らテキスタイルの企画・製造を行う人材を育成する。また、ションヘル織機を活用した若者の場を開設した。

◆期 間：平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月

◇受講者：6 名（一般）+8 名（学生）+ションヘル織機部 7 名

◇協力：近藤毛織工場、葛利毛織工業(株)、春日井毛織、(有)カナーレ、木玉毛織(株)、terihaeru

## PROMOTION (ビジネスチャンスの創出)

プロモーション事業 (79,672,185 円)

(内 サポイン事業 23,675,655 円)

### 1 東京展の開催 (38,216,167 円)

トレンド情報発信企業 (仏: ネリーロディ社) や JFW((一社)日本ファッション・ウィーク推進機構)のトレンドコーディネーターと提携し、新商品開発 (素材開発) を行い、東京・青山で尾州産地展を開催した。

#### ◆Bishu Material Exhibition (2019 春夏) <BME>

◇会 期:平成 30 年 4 月 17 日 (火) ~19 日 (木)

◇会 場:TEPIA 3 階エキシビジョンホール (東京都港区北青山)

◇出展者:16 社 (素材 1,150 点、ネリーロディ社のトレンド情報による素材 183 点)

◇来場者:1,431 名 (サンプルリクエスト数 12,455 点)

#### ◆Bishu Material Exhibition (2019/20 秋冬) <BME>

& 尾州・ヤーン・フェア<BY>

◇会 期:平成 30 年 10 月 17 日 (水) ~ 19 日 (金)

◇会 場:TEPIA 3 階エキシビジョンホール (東京都港区北青山)

◇出展者:16 社 (素材 1,570 点、ネリーロディ社のトレンド情報による素材 191 点)

糸業者 8 社 \*テキスタイル業者と糸業者とのコラボ生地を 10 点展示

◇来場者:1,844 名 (サンプルリクエスト数 11,623 点)

### 2 海外販路開拓支援事業 (8,220,512 円)

#### (1) Milano Unica 19/20 秋冬 (イタリア)

◆会 期:平成 30 年 7 月 10 日 (火) ~12 日 (木)

◇会 場:フィエラ・ミラノ・ロー(ミラノ市)

◇出展者:3 社 1 団体 (計 5 社)

◇ブース来場者:113 社 (サンプルリクエスト数 1,028 点)

#### (2) インターテキスタイル上海展

◆会 期:平成 30 年 9 月 27 日 (木) ~29 日 (土)

◇会 場:ナショナル・エキシビジョン&コンベンション・センター

◇出展者:4 社

◇ブース来場社:235 社 (サンプルリクエスト数 447 点)

#### (2) -2 2018 中国向けテキスタイル輸出商談会 in 名古屋

◆主 催:尾州産地バイヤー招聘実行員会 (FDC は構成団体)

◆会 期:平成 30 年 10 月 15 日 (月) ~16 日 (火)

◇会 場:あいち国際ビジネス支援センター セミナールーム

◇参加企業:21 社

◇招聘バイヤー:5 社 別に自費参加 1 社

#### (3) ジャパン・バーチャル・パビリオンへの参加支援

米国のマッチングサイト「ル・スーク」に登録し、企業のグローバル化を支援する。

3 社 1 団体が参加

サンプルリクエスト 69 件 315 点

オーダー(着分含む) 6 社 13 点

3 尾州トータルイメージアップ活動 (33,235,506 円)

(内基本事業分 9,559,851 円、サポイン事業 23,675,655 円)

(1) 産地アピール事業

- 登録商標「尾州マーク」の使用規程運用(H28.4.1)により、尾州の認知度と存在価値を高め、販路拡大を図る。

○承認数

	承認件数
28年度	77
29年度	186
30年度	258
<b>累計</b>	<b>521</b>

○頒布：下げ札、織ネーム

	下げ札	織ネーム
28年度	23,015	15,950
29年度	100,558	36,312
30年度	236,389	89,023
<b>累計</b>	<b>359,962</b>	<b>141,285</b>



- 尾州プロモーション Web サイト更新
- Web マガジン「T&F」を展示会来場者へも 2 回/月配信中  
(配信先：5,726 名)
- 手織り教室
  - (前期) 期 日：平成 30 年 6 月 13 日(水)～7 月 4 日(水)週 1 回 計 4 回  
会 場：FDC 参加者 18 名
  - (後期) 期 日：平成 30 年 11 月 7 日(水)～11 月 28 日(水)週 1 回 計 4 回  
会 場：稲沢市産業会館 参加者 18 名
- ファミリー・クラフト教室 「愛知の発明の日」関連事業
  - ◆期 日：平成 30 年 8 月 1 日(水)  
会 場：FDC 及び尾張繊維技術センター  
内 容：①～手織体験～ミサンガ作り、②尾張繊維技術センターの見学  
参加者：16 組 32 名(小学生 3～6 年生とその保護者)
- レクサス一宮店での尾州産地 PR 等
  - ◆期 日：平成 30 年 9 月 29 日(土)～30 日(日)
- 138 ひつじフェスタでの尾州産地 PR 等
  - ◆期 日：平成 30 年 10 月 27 日(土)～28 日(日)  
会 場：一宮市役所尾西庁舎西入口前  
内 容：尾州マーク付ポーチなど尾州テキスタイルグッズを販売
- イオンモール(キリオ)及びイオン木曾川店との連携による尾州産地 PR 等
  - ◆期 日：平成 30 年 11 月 10 日(土)～11 日(日)
- フレンドリーポート名古屋での尾州産地 PR 等
  - ◆期 日：平成 30 年 11 月 11 日(日)
- 尾州マフラー等出張販売
  - ◆期 日：平成 30 年 11 月 28(水)・29 日(木) 一宮市立市民病院  
平成 30 年 12 月 3 日(月) 看護専門学校

- 内 容：尾州マーク付マフラーやストール、ネクタイなどを出張販売
- ・ミサंगा出前教室
  - ◆期 日：平成 30 年 12 月 18 日（火）
  - 会 場：一宮市立中島小学校
  - 内 容：ミサंगाを作りながら織物の構造を学ぶ
  - 参加者：50 名
- ・産地製品の常設展示（FDC1 階）

(2) 製品化推進事業

- デザイナービジネスマッチング JTC 優秀作品の製品化
- (一社) アパレル・ファッション産業協会を通じて募集したデザイナーに対し、3 年間産地訪問費用等を助成し、ビジネスマッチングの強化を図る。
- 対象者：9 名（うち 6 名は昨年度より継続）
- 井上セイジ、木村健太郎、小池俊介、
- 大島郁、岡本順、森下慎介、中井英一朗、北澤武志、安藤大春

(3) 産地活性化支援事業

- ・匠ネットワーク支援
- ・尾州産地を考える会(ツイードラン尾州・犬山)への協賛
- ・NINOW 展、セミナー支援
- ・サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)「◎参考」参照
- 一新たな需要創出を目指す研究開発の事業管理機関（平成 29 年度から 3 年間）

★収益事業

**貸館事業** (25,709,399 円) (収入額 12,766,940 円)

- (1) 営業日：年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）の休館日及び臨時休館日を除く毎日
- (2) 運営経費：光熱水費、賃借料、保守管理費、修繕費等

○事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

◎参考

戦略的基盤技術高度化支援事業（通称「サポイン事業」）の事業管理機関  
（経済産業省補助採択）

- ・事業内容：セルロース系繊維を用いた飼料用ラップネットの利用技術の開発
- ・研究実施機関：松山毛織(株)（総括研究代表者 (PL)）、KB ツヅキ(株)、(株)大和川染工所、  
（国大）豊橋技術科学大学、広島県立総合研究所畜産技術センター
- ・計画実施期間：平成 29 年度～平成 31 年度
- ・事業費総額：3 年間計 約 1 億円 補助率：2 年度目は初年度交付決定額の 2/3 又は定額、3 年度目は初年度交付決定額の半額以内又は定額

\*事業管理機関は国との総合的な連絡窓口となり、補助事業の進行・経費管理を行う。

\*平成 30 年度 交付確定額 24,650,019 円 間接補助額 23,265,165 円